

No  
**59**①

学習や生活のルールを理解して、  
友達と一緒に学んだり遊んだりすることができる。

…人とかかわり…

## 話すこと

教科・学級活動の中での  
学習の基本（話すこと）の指導

4月～5月

### ☆ 視点に関わる就学前の状況 ☆

子どもたちは、誕生会や様々な場面で全体の前で話すことを経験してきている。また、小グループで、相手に伝わるような話し方に気付きながら質問に答えたり、対話したりできるようになっている。

### ☆ 接続期の状況（教科・学級活動の時間～） ☆

指導内容	子どもの姿・子ども同士のかかわり
<p><b>大きな声で話そう 《4月》</b> 国語科「どうぞよろしく」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自分の名前を話し、自己紹介する。</li> </ul> <p>ア. 自分の席に立ち、先生を見て話す。 イ. みんなの前に立ち、全体に話す。 ウ. 自分の席に立ち、全体に話す。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ア～ウのようなパターンを繰り返すことにより、慣れない環境の中でも、少しずつ大きな声で自分の名前を言ったり、話をしたりすることができるようになる。</li> </ul>
<p><b>場に応じた声の大きさで話そう 《4月》</b> 国語科 日常活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>こえのものさしを考えて場に応じた声の大きさで話す</li> </ul> <p>0……………心の中の声（静かに聞く状態） 1（ねずみ）……つぶやくような声 2（ねこ）……隣の人にだけ聞こえるような声 3（いぬ）……グループの人みんなに聞こえる声 4（らいおん）…教室全員に聞こえるような声</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>声のものさしで声の大きさを知り、場に応じた声の大きさで話すことができるようになる。話す学習だけでなく、日々の音読練習により、大きな声を出せるようになる。</li> </ul>
<p><b>隣の友だちに伝わるように話そう 《5月》</b> 国語科「ふたりでおはなし」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>絵を見ながら、型に合わせて尋ねたいことを見つけて質問する。</li> <li>隣の友達に自分の答え（考え）を伝える。</li> </ul> <p>「なにが いますか。」「〇〇がいます。」や「どこにいますか。」「〇〇にいます。」という表現を確認する。</p>	<p>絵の中にどんな動物がいるか、友達に聞いてみよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>友達とのやり取りの中で、正しい日本語が身に付く。</li> <li>相手の話を聞いて、それに答えようとするコミュニケーション能力が育つ。</li> </ul>
<p><b>グループの友だちに伝わるように話そう 《5月》</b> 国語科「わけをはなそう」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>身近なことや経験したことなどを思い出し、話題に沿って話す。</li> <li>話型に沿って「わけ」を話す。</li> <li>グループのみんなに自分の考えを伝える。</li> </ul> <p>「どうしてか」というと、～だからです。」という話型を確認する。 挿絵の顔の表情から、喜怒哀楽を読み取らせる。 「女の子は、どんな顔をしているかな？」 「どうして、泣いているのかな？」</p>	<p>どうしてわらって（おこって）（泣いて）いるのかな？</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>挿絵の表情から喜怒哀楽を読み取る。</li> <li>友達のいる方を見て、大きな声で自分の考えを話す。</li> <li>話形にそって話す。</li> </ul> <p>A：女の子は、笑っています。どうしてかという、朝顔が芽を出したからです。 B：女の子は、泣いています。どうしてかという、石につまずいて転んだからです。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>6月教材「なんていったらいいのかな」の内容「相手の立場になって話したり聞いたりする」につながる。</li> </ul>	

### ☆ 接続期の指導場面における配慮事項 ☆

今年度から新指導要領が始まり、1年生は国語科が1時間増となり、教科書も新しい内容のものとなった。どの教科でも「伝える力」に重きを置くようになり、特に国語科では「ふたりでおはなし」「わけをはなそう」「なんていったらいいのかな」など伝え方の学習が導入されてきている。様々な場面を想起させ、自分の思いを相手に分かるように伝える力の育成が大切である。